

令和5年度 FD・SD 研修会 報告書



2024.3 発行

ユマニテク短期大学

前期FD研修会

◆日程:令和5年8月22日(火)13:30~15:00

◆参加者:ユマニテク短期大学教職員

◆開催方法:対面

◆研修内容

講師:東海学園大学 教授 水野 正朗 氏

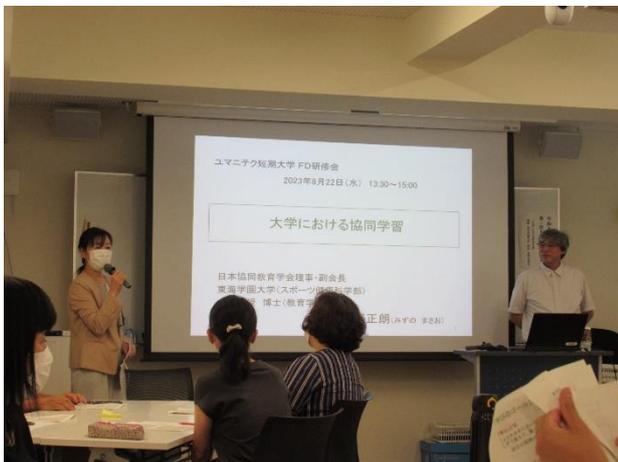
内容:「大学における協同学習」



◆リフレクションシートより

- ・競争ではなく、協同を学ぶということがこれからの学生の成長や授業の質に繋がっていくということが理解できた。
- ・アクティブラーニングの大切さは、勿論のことながら、水野先生の子どもに対する思いや教育の在り方、教育者を育成する上でどのような教育者になって欲しいかという熱い思いがベースになっていることが感じられ、感動と感銘を受けました。
- ・世界的な学習観の変化 学習は個人の営み、勉強は本来、自分だけでやるものという考え方から学習は社会的な営み、知識は周囲との相互作用によって構成され、創造され、獲得されるもの。このような学習観を持つことがアクティブラーニングを行う上で根本であると感じた。
- ・理論も大事だけど実際にやってみることが大事だと感じました。グループワークの注意点も教えていただきましたが、どんな仕事の内容にも応用できることだと思いますので、心にとめて実践に取り入れていきたいと思いました。

(一部抜粋)



後期SD研修会

◆日程:令和6年2月20日(火)13:00~15:30

◆参加者:ユマニテク短期大学教職員・非常勤講師

◆開催方法:対面、オンデマンド

◆研修内容

講師:ユマニテク短期大学 徳増全矢 氏

内容:「学校安全整備の重要性と避難所運営ゲームを通じた疑似体験」



◆リフレクションシートより

- ・ 防災の意識は教職員、学生全員が常にもつ必要があると強く感じた。
- ・ 学生支援委員会で担当している避難訓練に、早速取り入れていきたいと思いました。
- ・ いざという時に、適切な行動がとれるようなシュミレーションや訓練や、日頃の備えの必要性を痛感した。
- ・ 困難な状況に置かれている人のことを理解し、万が一の時を考え、最善の動きができるようにしていきたいと思えます。
- ・ 次々に想定外の状況が押し寄せるという避難所 HUG を実際にすることで、にぎやかに研修を取り組めてました。災害にあったとき、学生や地域の人に対してどんな行動をとるべきなのか、命を守るという行動に対してもっと考えていなければいけないと感じました。

(一部抜粋)

